



絵には様々な見方があります。自分なりの見方をワークシートによる鑑賞を通し
考え・感じてみてください。

葉祥明は空気を描く画家とも言われています。
あなたはどんな空間を感じますか……

●1997年に出版された絵本のために描かれた作品です。



- ・この絵本のタイトルにもある、あるものがこの作品の中にかくされています。
それはなんでしょう。
- ・葉祥明さんが大学卒業後に留学し「一番好きな場所」この絵本の舞台にもなっている所はどこでしょう。
- ・お話の中で主人公のジェイクと友だちになるリスのキキ。実は他の絵本でも登場します。その絵本はなんでしょう。(ヒント:ジェイクが主人公のお話です)

●『マザーグースのうた』の作品です。

・日本やアメリカではイギリスの伝承童謡の総称を『マザーグース』と言っていますが、本家本元のイギリスでは、伝承童謡の総称は異なります。なんとというでしょう。(イギリスで「Mother Goose」と言えば「Old Mother Goose」の物語詩か、その主人公の「マザーグースおばさん」のことと思います。本書解説より。著：鷺津名都江)



・この作品はたくさんある「マザーグースのうた」から
なんとという詩の場面を描いた作品でしょう。

・みなさんがよく知る「キラキラ星」「メリーさんのひつじ」「ロンドン橋」のうたの中で、
「マザーグース」はどれでしょう。

●2002年に出版された絵本『さとうきび畑』。平和への祈り、父への想いを歌ったヒット曲の歌詞をベースに葉祥明が絵本を描きました。



・『さとうきび畑』は第二次世界大戦の沖縄戦で戦死した人々が眠る、夏のさとうきび畑に流れる風の音が繰り返される詩が印象的です。この『さとうきび畑』を作詞・作曲したのは誰でしょう。

・「ざわわ ざわわ ざわわ 広いさとうきび畑は」と繰り返される詩。
この絵をみて、平和への祈りをこめてあなたならどんな言葉を続けますか。

* 1972年5月15日にアメリカ合衆国から日本へ返還され、2022年の今年 沖縄本土復帰50周年になり、様々なメディアで特集が組まれるなど、沖縄への関心が高まっています。1945年の終戦から返還されるまでアメリカ統治下の沖縄、返還後の50年。葉祥明の作品も、これまでの歩みを知るきっかけのひとつとなれば…と思います。

“絵本を通して心の平和を” 葉祥明の願いです。

* 葉祥明さんは、様々な題材の絵本を描いています。しかし、どの作品にも「愛」や「優しさ」「自分らしさ」を大切にしたいというメッセージを読み取る事ができます。
美術館で本物の作品を観て、その世界感を感じてください。